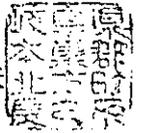


北都第 336 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

岐阜県本巣郡北方町
北方町長 室戸 英夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり報告します。

道路特定財源について「道路特定財源に関する基本方針」が閣議決定され、道路整備に対する財源問題が取りざたされるなか、地方にとって道路整備は必要であります。また、国道レベルについては優先度や必要性がオープンな形で議論がされ地域の声が活かされるものではないとすることは言うまでもありません。

地方がもっと活性化し住みやすくなるためにも地方の道路整備を進めることは大変重要であります。但し、厳しい財政状況のなか限られた財源で整備をしなければならないことを踏まえて道路の必要性、優先順位等、慎重に検討し決定して行かなければならないと思えます。

そのためには、生活道路、幹線道路の区分を明確にして中長期的なビジョンを基に、さらに実施段階においても現況を再検討し、広い歩道や、自転車道など安全安心な道路整備を望みます。

一方、経済の停滞、顕著な少子高齢化、過疎化の進行などを考えると路線バスや鉄道の廃止、郵便局や医師の不在などにより、日常生活を保障する施策も一般財源化で対応して欲しい問題です。

北方町は、岐阜県の南西部、濃尾平野の北部に位置し、東に岐阜市、北西に本巣市、南に瑞穂市へと隣接し、面積 5.17 平方キロメートルで県下でも一番小さな町です。交通の面では、樽見鉄道、岐阜バス 7 路線、国道 157 号、主要地方道岐阜関ヶ原線等があり、それぞれ岐阜市方面あるいは、大垣市方面へ結ばれており、これらの交通手段を利用した中京圏のベッドタウンとしての住宅都市とし位置付けられております。

近年、名鉄揖斐線の廃線に伴い、新たな交通体系の見直しが必要となり、公共交通利用者の利便を図るためのバス路線の充実、集約化（バスターミナル設置）が緊急の課題であり、現在積極的に取り組んでいるところであります。

また、中心市街地である岐阜市等への幹線道路は朝夕の渋滞が激しく、未整備である運動場加茂線など、都市計画道路等の早急な整備を強く望みます。

現在、北方町では、「住民参加の草の根民主主義」をこの町に根付かせ、行政と住民が連帯し、パートナーとなって「小さくても、キラリと光る」町づくりを実現したいとの思いから公募による政策審議会や、住民との対話集会を行ったりして「生活者目線」の行政を図り、近隣市町との広域的、共同的なネットワークを図りながら、安全と安心、便利で暮らしやすい機能を持った住宅都市としての町づくりを進めています。

一方、岐阜市・名古屋市等のベットタウンとしての当町にとって、これら通学通勤者の幹線道路の整備が急務です。また、町内の生活道路について、歩道部分の整備や段差の解消等、高齢者や交通弱者に安全な道路整備が必要です。

今後の道路行政についての意見・提案

様式

道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岐阜県 北方町

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
<p>・地域活力の向上</p>	<p>・土地区画整理事業等による総合的な面整備 既成市街地に隣接し、市街化が進行しているものの、都市基盤整備の遅れから、無秩序な市街化形成の様相を呈していた。 現在、本町で唯一残された未整備地区である高屋西部地区約 20ha の土地区画整理事業の早期着工</p>	<p>期待する効果や評価等 ・本事業では、町内の幹線道路網の整備と併せて一体的な面整備を行い秩序ある市街化の形成と災害等に強い安全で安心なまちづくりと、幹線道路の早期整備がなされ地域交通の利便性が図られる。</p>	